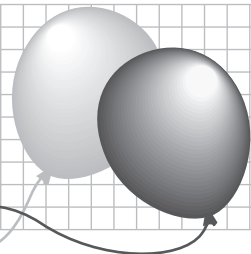


話題の広場



中央会事業より

総務・企画委員会を開催

3月3日(木)、本会の会議室において、平成22年度第2回総務・企画委員会を開催しました。委員会では、中央会活動ビジョンの平成22年度目標に対する遂行状況について本会から報告し、その後、意見交換が行われました。ビジョン初年度となる今年度の目標は概ね達成することができたと総括されました。本会では、今回の委員会で出された意見を2年度目の計画に反映させ、「強い組合・強い企業づくり」の実現に向け、活動を強化していく予定です。



新会員紹介：企業組合あきたマリッジ



湯瀬理事長

【組合の紹介・PR】秋田県は、全国的に見て少子化ワーストワンと言われています。その背景には、晩婚化や非婚化の進行のほかに、異性との出会いの機会が少ないと感じている独身者が多くなっていることがあります。行政が実施した「結婚観に関する意識調査」では、結婚したいと思っている独身男女が8割を超えているのに対して、7割の人が異性との出会いが少ないと感じているという結果が出ております。

こうした状況を踏まえ、秋田県の少子化対策のために、一組でも多くの結婚カップルを誕生させ、一人でも多くの子供の誕生を願い、結婚相手紹介の仲介を行うために企業組合を設立しました。

◆住所	秋田市中通四丁目14番16号
◆代表理事	湯瀬 早百合
◆出資金	200,000円
◆組合員数	4名
◆主な事業	結婚の斡旋、イベントの開催
◆成立年月日	平成23年2月2日

支援団体活動レポート

販路開拓セミナーを開催

～あきた食品プラザ～

2月17日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきた食品プラザ(後藤一会長、139会員)が主催する販路開拓セミナーが開催されました。

当日は、セミナーに先立ち、「JAS法に基づく指示・公表の指針の運用改善のポイントについて」と題して、東北農政局秋田農政事務所消費・安全部表示・規格課の豊島萬課長補佐と佐藤優指導係長から、平成23年1月1日から運用されている指示・公表について説明が行われました。

その後、セミナーでは、社団法人日本能率協会産業振興事業ユニット広域市場開発チームの箱崎浩大リーダーが、「首都圏での販路開拓のための物産展・見本市の正しい活用法とは?」と題して講演を行いました。



箱崎氏は、「展示会等に出展して販売したときは、性別や年齢層等を把握するなど、本格的なバイヤーとの商談に活かすためのデータ収集を行うこと。それにより物産展に出展する意味が重要なものとなるはず。」などと提言し、「正しく活用すると必ず商売の展開が広がるので、事前にしっかりと目標設定をしてほしい。」と語り、受講者は熱心に聞き入りました。

中野秋田県副知事との懇談会を開催

～秋田県中小企業青年中央会～



中野副知事

3月10日(水)、秋田市の第一会館本館において、中野節秋田県副知事と秋田県中小企業青年中央会(進藤政弘会長)との懇談会が開催されました。

この懇談会は、秋田県産業全体の活性化に向けて広く意見交換を行うことを目的としており、県側からは中野副知事を始め、産業政策課の金田主幹、鷲谷主査及び木村主任が出席、また青年中央会からは進藤会長を始めとする役員や各組合青年部の代表者等19名が出席しました。

中野副知事は、「これからは企業経営者から直接声を聞く機会を積極的に設けていきたい。」と挨拶

し、出席した各会員から業界の現状等の報告が行われた後、県が主催するイベントとの共催や補助金の活用、人材育成等、課題解決に向けた取組と活性化策について活発な意見交換が行われました。



技能実習生受入事業について意見交換

～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

2月23日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長、18会員)の第3回研修会が開催されました。

研修会では、「技能実習生受入の際に生じた問題・課題への対処について」をテーマに、参加者から現状報告が行われた後、生活全般に関する各組合の対応状況等について情報交換を行いました。

参加者からは、「技能実習生への講習の内容は、交通ルールや防犯について多くの時間を割いている。」「残業時間については法律を遵守し、何よりも労使のコミュニケーションを緊密にしていくべきである。」「毎日の業務終了後には、日本語コンクールのための練習を試みてはどうか。」などといった意見が出され、様々な課題の解決に向けて懇談を深めました。



インフォメーション

組合士試験に本県から3名が合格！

昨年12月5日(日)に行われた平成22年度中小企業組合検定試験の合格者が3月1日発表され、本県からは、次の3名が合格されました。(五十音順・敬称略)

- 稲葉 健(秋田県中小企業団体中央会)
- 大石 諭(株式会社商工組合中央金庫秋田支店)
- 谷山由美子(秋田電気工事協同組合)

○本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は「中小企業組合士」として認定されます。「中小企業組合士」は、事業協同組合等の運営エキスパートとしての資格です。

平成23年度の受験を希望される方は、本会調査広報課までご連絡ください。(TEL018-863-8701)

人事異動のお知らせ

【秋田県】(4月1日付)

産業労働部(商工関係)の転入出者は次のとおりです。

《転入》()は前職、〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

- 産業労働部部長待遇(兼)東京事務所長
(企画振興部次長) 鈴木 長彦
- 産業技術センター所長
(産業技術総合研究センター所長(兼)高度技術研究所長) 齋藤 昭則
- 産業労働部次長(産業政策課長) 佐々木定男
- 産業労働部参事(兼)公営企業課長(公営企業課長)
大野 佑司
- 産業技術センター副所長(兼)電子光応用開発部長
(産業技術総合研究センター工業技術センター所長) 鎌田 悟
- 産業労働部課長待遇(活性化センター)
(産業技術総合研究センター総務管理部長) 伊藤 明光
- 産業政策課長(鹿角地域振興局総務企画部長) 工藤 敏弘
- 産業政策課政策監
(山本地域振興局総務企画部地域企画課長) 永田 徹
- 地域産業振興課政策監(産業労働部課長待遇) 高橋 徹
- 産業集積課長(秘書課政策監) 水澤 聡
- 商業貿易課貿易振興監(観光課韓国交流推進監) 猿橋 進
- 観光課政策監(県民文化政策課主幹) 信田 隆善
- 資源エネルギー産業課長
(市町村課県市町村協働推進監) 三浦 泰茂
- 公営企業課政策監(産業労働部課長待遇) 柴田 健
- 産業技術センター総務管理部長
(産業政策課総合調整主幹) 金 善則
- 産業技術センター技術イノベーション部長
(産業技術総合研究センター経営企画部長) 山脇 康平
- 産業技術センター素形材プロセス開発部長
(産業技術総合研究センター工業技術センター次長) 進藤 亮悦
- 産業技術センター先端機能素子開発部長
(産業技術総合研究センター高度技術研究所次長) 有明 順
- 産業技術センター先端機能素子開発部主席研究員
(産業技術総合研究センター高度技術研究所主席研究員) 山川 清志

◎産業政策課

- 総合調整主幹(公営企業課総合調整主幹) 能美 朋也
- 主幹(産業政策課副主幹) 市川 道子
- 副主幹(産業政策課主査) 小松 鋼紀
- 副主幹(信用保証協会)(建設管理課副主幹) 佐々木 琢
- 主査(秋田地域振興局農林部主査) 土門久仁子
- 主査(秋田地域振興局農林部主査) 梅田 浩彰
- 主査(東京事務所企画政策課主査) 菅原 和房
- 主査(秋田地域振興局総務企画部主査) 小野寺智康
- 主査(名古屋事務所主査) 鈴木 隆史

◎地域産業振興課

- 主幹(地域産業振興課副主幹(活性化センター)) 保坂 一仁
- 主幹(活性化センター)
(産業技術総合研究センター高度技術研究所上席研究員) 千葉さおり
- 副主幹(産業政策課副主幹) 石川 定人
- 副主幹(地域産業振興課副主幹(活性化センター)) 佐藤 良知
- 副主幹(産業集積課副主幹) 工藤 千里
- 副主幹(地域産業振興課副主幹(活性化センター)) 熊谷 仁志
- 副主幹(地域産業振興課副主幹(活性化センター)) 進藤 啓介
- 副主幹(観光課副主幹) 菊地 拓
- 副主幹(東京事務所企画政策課副主幹) 三浦 均
- 主査(地域産業振興課主任) 高橋 晃
- 主査(企業立地事務所主査) 高坂 聡
- 主査(地域産業振興課主査(活性化センター)) 小玉 博樹
- 主査(地域産業振興課主査(活性化センター)) 富樫 啓悦
- 主査(温暖化対策課主査) 山平 路春

- 主査(地域産業振興課主査(活性化センター)) 秩父 慎吾
- 主査(産業政策課主査) 佐々木太樹也
- 主任(地域産業振興課主任(活性化センター)) 佐藤 真也
- 主任(市町村課主任) 今野 武俊
- 主任(建設管理課主任) 佐藤 春樹
- 主任(調査統計課主任) 佐々木優誠
- 主任(学術振興課主任) 三浦 潤
- 主事(秋田地域振興局県税部主事) 村井 祐二

◎商業貿易課

- 主幹(商業貿易課副主幹) 畠山 智
- 主査(商業貿易課主任) 進藤 勝俊
- 主査(東京事務所企画政策課主査) 加藤 淳弥
- 主任(学術振興課主任) 田中 洋之

◎食品産業課

- 副主幹(食品産業課主査) 辻田 豊英
- 副主幹(秘書課副主幹) 菅生 淑子
- 主任(総務課主任) 松岡 大介

◎雇用労働政策課

- 副主幹(秋田労働局) 西村 吉隆
- 主任(北秋田地域振興局総務企画部主事) 小野 雅志
- 主任(消費生活室主任) 菅原 泰子
- 主任(青森県)(雇用労働政策課主任) 篠原 学
- 主任(ふるさと定住機構)(農林政策課主任) 松倉 和美

《転出》〈 〉は派遣

敬称略

◎産業経済労働部

- 会計管理者(兼)出納局長 斉藤 俊高
- 監査委員事務局監査第一課長 佐々木浩二
- 学術国際局課長待遇(秋田産学官ネットワーク)
永田 新
- 少子化対策局少子化対策推進監 鈴木 和朗
- 由利地域振興局総務企画部長 山口 武秀
- 北秋田地域振興局総務企画部長 飯塚 正範
- 総務事務センター長 藤井 孝志
- 鹿角地域振興局総務企画部長 金田 恵
- イメージアップ戦略推進室長 成田 光明

◎産業政策課

- 財政課副主幹 神部 秀行
- 産業集積課副主幹 松井 信光
- 総合政策課副主幹 齊藤 大幸
- 県民文化政策課副主幹 高橋 勝則
- 総務課主査 加藤 慶美
- 能代港湾事務所主査 安田 友也
- 教育委員会主任(勤務地：秋田市) 鈴木 秀隆
- 自治研修所主任 三浦 篤

◎地域産業振興課

- 千秋学園副主幹 菊地 博明
- 地域活力創造課副主幹 島本 格
- 産業技術センター技術イノベーション部主任研究員
千葉 隆
- 仙北地域振興局農林部主査 阿部 秀樹
- 鹿角地域振興局農林部主査 成田 斉
- 秋田地域振興局建設部主査 西村 淳一
- 南児童相談所主査 山中 公伸
- 市町村課主査(潟上市) 長谷部達也
- 名古屋事務所主査(トヨタ自動車) 干場 達和

◎商業貿易課

- 人事課主査(秋田市) 石山 聡
- 東京事務所企画政策課主査(N Y K) 土谷 聡
- 人事課主事 三浦 久人
- 由利地域振興局総務企画部主事 戸嶋 悦子

◎食品産業課

- 環境整備課副主幹 水澤 里利
- 県民文化政策課主任 佐藤伸太郎
- 人事課主査(鹿角市) 佐藤 博隆

◎雇用労働政策課

- 秋田技術専門校主査 小倉 千春
- 秋田労働局復帰 信太 浩信
- 教育委員会復帰 大淵 亮
- 教育委員会主任(勤務地：横手市) 佐藤 茂
- 県民文化政策課主任 高橋 浩樹
- 建設交通政策課主任 松田知江美

- 事業振興部商業振興課主任(総務企画課主任)

芳賀 洋子

- 調査部調査広報課主任(商業振興課主任) 日時 均
- 事業振興部商業振興課主任(工業振興課主任) 鈴木 実
- 事業振興部工業振興課主任(調査広報課主任) 谷口 秀明
- 事業振興部商業振興課主任(商業振興課主事) 山本 繁広

■役員退任及び参与就任のお知らせ

◎高橋光男専務理事が3月31日をもって退任致しました。

高橋氏は、平成20年5月から専従の専務理事として務められ、本会の発展に大いに貢献されました。

高橋氏の今後のご健勝をお祈り申し上げます。

【秋田県中小企業団体中央会】(4月1日付)

()内は前職

- 事務局次長(事業振興部長) 加藤 貢
- 事業振興部長兼工業振興課長(工業振興課長) 畠山 頼仁
- 調査部長兼調査広報課長(商業振興課長) 本間 昭彦
- 事業振興部商業振興課長(調査広報課長) 佐藤 郁夫
- 調査部調査広報課上席主幹(商業振興課主幹) 吉田 誠樹
- 事業振興部工業振興課上席主幹(工業振興課主幹) 堀井 清一
- 事業振興部大館支所長(工業振興課主査) 藤田 実
- 事業振興部工業振興課課長補佐(大館支所長) 齋藤 典昭
- 総務部総務企画課課長補佐(調査広報課課長補佐) 堀江 哉子

◎4月1日付で高橋清悦氏が就任致しました。

参与 高橋 清悦

高橋氏は、秋田県農林水産部次長、農林水産技術センター所長、出納局会計管理者兼出納局長を歴任され、平成23年3月31日に退職されました。



組合ティールーム

秋田たばこ販売協同組合

理事長 原田 啓 藏 さん



—趣味は何ですか？

写真です。初めてカメラを手にしたのは小学校4年生のときです。写真を撮るだけでなく、当時から、現像・焼き付け・引き伸ばしを全て自分するのが楽しみでした。暗室で、自分が撮った画像がだんだん浮き出してくるときの感動は何とも言えません。デジカメになって暗室での作業もなくなりましたが、カメラはいつも持ち歩いています。保存したいと思う風景や、集落の家など、記録写真を撮るのが好きです。

—座右の銘は何ですか？

出会いの一瞬一瞬を大切に「一期一会」と、中学生の頃に恩師が話してくれた「青は藍より出でて藍より青し」も好きな言葉です。

—業界としての要望をお聞かせください。

未成年者の喫煙防止対策や女性部員を中心に実施している清掃活動など、社会貢献を積極的に行っていますが、健康面への影響等悪い面ばかりが強調されています。税収への寄与等も評価して頂き、零細小売店への支援をお願いしたい。

—理事長として今後の抱負をお聞かせください。

タスポやたばこの値上げの影響は一段落しましたが、今は組合の方向付けが難しい時期です。消費人口の減少などで、たばこ小売店に限らず、大型店でさえも大変な時かと思えます。古来から、日本の文化は助け合いを基本にしていますが、全ての業界に閉塞感が漂っているこの状況で、組合組織が元気を取り戻し活力を生み出すには、異業種間の交流を深めることで、各組合間の交流を促進していくしかないと思えます。